

JAグループがめざす姿

1. 持続可能な農業の実現
2. 豊かでくらしやすい地域社会の実現
3. 協同組合としての役割発揮

消費者の信頼にこたえ、安全で安心な国産農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支える姿
総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、協同の力で豊かでくらしやすい地域社会の実現に貢献している姿
次世代とともに、「食と農を基盤として地域に根ざした協同組合」として、存立している姿

JAは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現と「地域活性化」への貢献を進めるため、創造的自己改革に取り組んでいます。今回は平成30年度の実績を中心に紹介します。

地域の活性化

■支店



▲笠おどり一体となった平田のJAまつり

JAまつり 各地区10会場で開催

JAは支店を中心とした「地域活性化」の取り組みを継続しています。JAまつりが8月から11月にかけて、各地区10会場で開催され、多くの方が「食」と「農」にふれあい、交流を深めました。

■青年部



▲藤岡小学校での田植え

田植え・稲刈り指導

青年部員が各小学校で田植えと稲刈りの指導を行いました。

田植え 11小学校 児童487人
稲刈り 9小学校 児童392人

首都圏小学校で出前授業

首都圏で食農教育の出前授業を行う「上京運動」を行いました。

上京 28小学校
運動 児童約2,000人

■女性部



▲親子での料理は貴重な時間です

親子料理教室

食農教育の一環で、多くの親子から参加してもらいました。

5会場 171人の親子

女性大学

受講生が「食・農・健康」をテーマに講座を受講し楽しく学びました。

講座 7回 受講生33人

■未来を考える会



▲「刈屋梨」で皆んな笑顔！

メロンと刈屋梨を 学校給食に

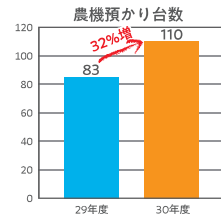
特産品である庄内砂丘メロン・刈屋梨を学校給食に供給し、食農教育と地産地消のさらなる推進を行いました。

メロン 小・中学校 7校へ
刈屋梨 小学校 8校へ

■生産コスト低減

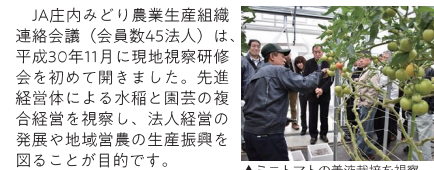
農業機械格納整備事業 利用32%増

30年度は29年度比32%増の110台を預かりました。農機を個人宅で保管できない場合、JAの格納庫を利用することができます。JAは効率的な作業を支援しています。



▲JAの格納庫には農機がずらり

■農地所有適格法人・担い手支援 先進経営事例を初視察



▲ミニトマトの養液栽培を視察

■安定収量確保・省力化に向け ドローンや密苗などの実証試験



▲ドローン防除の実演会

▲密苗の実証は田植え

■マーケットインに基づく生産・販売

米の実需者ニーズに応え、主食用米はオール山形の一員として、山形県農業再生協議会で決定した「生産の目安」に基づき、需要に応じた米の生産を行います。加工用米や水田活用米穀にも積極的に取り組み、農業者の所得向上を目指し、農家経営の安定に努めます。

農業者の所得増大、農業生産の拡大

■園芸生産拡大事業

園芸生産拡大支援事業 2年で園芸ハウス61棟

	件数	面積(a)	棟数
29年度	15	93	32
30年度	19	71	29
合計	34	164	61

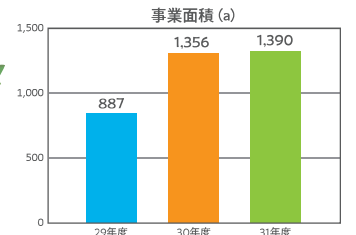
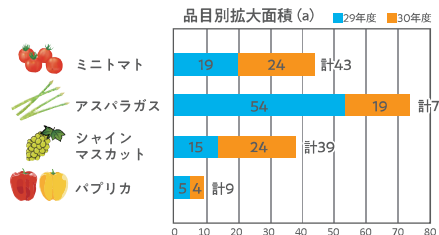


長ねぎ生産拡大推進事業 面積1,390aへ

「長ねぎ生産拡大推進事業」とは、長ねぎの苗作り、定植、土寄せ、防除、収穫作業をJAに委託できる事業です。31年度は38人が取り組み、272万本（5kgケースで64,000ケース）320トンの出荷を目指します。10a当たりの目標収量は2万本です。30年度は、253万本で約6万ケース、297トンの実績です。



▲ねぎの共選施設にて調製作業

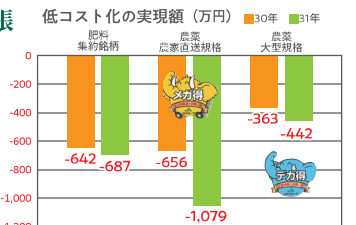


■生産コスト低減 大容量規格や銘柄集約で 2,200万円削減、農家直送規格が伸張



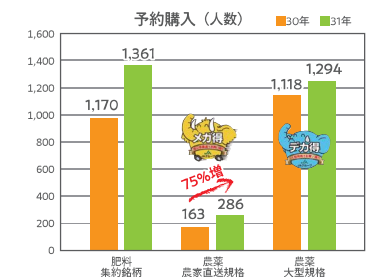
▲農家直送規格を生産者に直送

31年は大容量規格や肥料銘柄集約の提案と予約購入により、30年比32%増の2,200万円のコストを削減できました。農家直送規格は1ha当たり6,837円の低コスト化を実現し、予約購入人数が30年比75%増加しました。



31年		予約購入				低コスト化の実現		
		人数	トン	数量	面積 (ha)	金額合計 (税別)	1袋 当たり	1ha 当たり
農業	集約銘柄	1,361	932	46,595	-	-6,876.71	-148	-
	農家直送規格	286	13	447	1,579	-10,794.90	-	-6,837
	大型規格	1,294	50	5,244	3,853	-4,428.86	-	-1,150
合計		2,941	995	-	-	-22,100.47	-	-

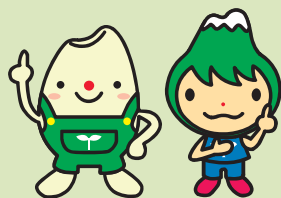
※農家直送・大型規格は1kg剤を購入した場合との比較



J A が地域社会に果たす機能・役割

JAは、皆さまの営農やくらしのあらゆる面に役立てていただけるよう、以下のような事業を行っています。

農業関連事業



営農指導、農畜産物販売、生産資材購買
販売事業取扱実績 141億円
 (米穀106億円、園芸19億円、畜産15億円)
購買事業取扱実績 59億円

共済事業



生命共済、建物共済、自動車共済など
 農業やくらしに関する共済

共済窓口 9支店

地域に根ざしたライフアドバイザー(LA)が利用者のライフプランをサポートします。共済事業以外の相談もJAの各担当者へおつなぎして、役立つ情報を提供しています。



庄内地区5JAとJA共済連山形は、県立庄内農業高校に実習用大型トラクターを寄贈しました。JAグループ山形の地域貢献活動の一環です。

総合事業

信用事業



貯金、農業融資、住宅ローンなど
 農業やくらしに関する金融

金融窓口 9支店 ATM23台

地域の皆さまから貯金をお預かりしたり、農業機械や住宅、マイカー、教育ローンなどで暮らしを支える地域の身近な金融機関として、きめ細かいサービスを提供しています。

ファーマーズマーケット 農産物直売所



みどりの里
 山居館

JA直営店 1店舗 (出荷組合員90人)

インショップ型産直4ヶ所
 (出荷組合員延べ60人)

JA直営の山居館では組合員90人が生産した新鮮野菜を、地域の皆さんから購入してもらっています。年間で約10万人の方から利用いただいている産直施設です。また、組合員は組織をつくり、庄内のスーパーなど4店舗にインショップ型の産直として入り、多くの方から利用いただいています。

生活関連事業



八幡給油所
 リニューアル
 オープン

ガソリンスタンド、ガス、
 高齢者福祉事業、葬祭など

JA-SS 5ヶ所
ガス事業利用者 約9,600人

JA健康寿命100歳プロジェクトの一環として、「ウオーキング倶楽部」を実施しています。

7回実施 延べ246人参加

組合員アンケートにご協力をお願いします

この度、JAグループとして組合員の皆さまを対象としたアンケート調査を実施させていただくこととなりました。日頃、農協事業を利用いただいている組合員の皆さまの、農協に対する率直な意見を伺いたいと考えております。調査結果はJAグループと政府の農協改革に関する議論・交渉の材料として使用させていただきます。お忙しいところ大変恐縮ですが、何卒ご協力をよろしくお願い致します。

調査期間

平成31年2月12日(火)~3月12日(火)に、当JA職員が訪問し、アンケートのお願いをさせていただきます。

お問合わせ

総合企画部
 総務課 ☎0234-26-5500

